

第3章 地域福祉総合計画の理念・目標



第1節 理念

「おんなで思いやり支え合う、安かして暮らせるまちづくり」

「思いやり」の気持ちを、住民一人ひとり、各専門機関、行政がそれぞれ持ち、支え合うことで誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくりを目指します。

第2節 基本目標

計画の理念に基づき、本計画では以下の4つの基本目標を設定しました。

1. 思いやりを育む

「何よりも大切なことは、相手を思いやる心。支え合うには、まずは思いやることが大事だ」という、策定委員の熱い思いから、この基本目標を設定しました。

2. 支え合う場づくり

「もっと住民一人ひとりに近い場所で、気軽に相談できる場所があったらいい。役場や くらじの郷は遠くてなかなか行けなかったけれど、ここなら近いから行けるという距離に 『拠点』を作りたい」という意見から、この基本目標を設定しました。

3. 地域で活躍する人材づくり

「ボランティアのなり手がない、後継者がいない・・・でも、地域にはまだまだ活躍している人がたくさんいるはず。そういう人々に、福祉のまちづくりに参加してもらえるような取り組みが必要」という意見から、この基本目標を設定しました。

4. 支え合う仕組みづくり

「分野別の縦割りでは無駄が多い、効率的ではない、ちゃんと『その人』の家族を含めた生活全般から支援すべき。横断的かつ継続的に支援できる仕組みづくりが必要」という意見から、この基本目標を設定しました。

理 念

みんなで思いやり支え合う 安心して暮らせるまちづくり

基本目標

思いやりを育む

支え合う場づくり

人材づくり地域で活躍する

を育みます。と、誰も排除しない気持ちく生活するための主体性職任せではなく、自分らし職任せではなく、自分らし

置します。
交流できる福祉の拠点を設場所に、誰もが気軽に相談・地域住民一人ひとりに近い

疠

養成などを行ないます。 ローアップ、ボランティア成や、※地域リーダーのフォ鞍手町支え合い推進員の養

ムを構築します。 総合的に支援できるシステ 断的に連携し、切れ目なく 住民、専門機関、行政が横

支え合う仕組みづくり

具体的取組み

※地域リーダー:本計画では自治会役員等、民生委員・児童委員、老人会会長など、地域において中心的に活動される方を総括して「地域リーダー」と表現しています。